

トランザスが「都営地下鉄施設内における案内・ 警備ロボット実証実験」の参加事業者に選定されました

株式会社トランザス（本社：神奈川県横浜市、代表取締役：藤吉 英彦、以下、「トランザス」）は、東京都が実施する「都営地下鉄施設内における案内・警備ロボット実証実験」の参加事業者として選定されましたので、お知らせいたします。実証実験の期間中、トランザスの警備ロボット「TRA-DeCA（トラデカ）」が都営地下鉄の施設内を警備・巡回いたします。

【「TRA-DeCA」の概要】

警備ロボットである「TRA-DeCA」の最大の特徴は高性能カメラ及び顔認証システムを搭載している点です。カメラに映る通行人の顔とデータベースに登録された顔とを照合し、特定の人物との一致を検出した場合には、別の場所にいる警備員に通知します。

また、巡回場所を事前にマッピングすることにより自律走行を行います。搭載したセンサーが周囲の障害物をリアルタイムに検知するため、危険があれば緊急停止するか、もしくはぶつからない進路を自ら選択することができ、通行人への安全も確保しております。PC やトランザスのウェアラブルデバイス「Cygnus」からの遠隔操作をすることも可能です。



「TRA-DeCA（トラデカ）」

【実証実験の概要】

2020 年までに社会実装が見込まれる又は既に社会実装されており、東京都が 2020 年までに技術・サービスの改良・改善を目指している「案内や問合せ対応等」及び「警備・警戒・見守」に資するロボットを活用した技術・サービスについて、都営地下鉄の駅における実証実験をとおり、技術の向上や活用の可能性、社会実装へ向けた課題等の検証が行われます。

実施期間

平成 30 年 12 月 10 日(月)から平成 31 年 2 月下旬まで（予定）

「TRA-DeCA」の実証実験実施期間は上記の内、7 日間を予定しております。

実施場所

案内：大江戸線都庁前駅都営交通案内所、大江戸線上野御徒町駅ツーリストインフォメーションセンター

警備：大江戸線国立競技場駅、大江戸線大門駅、大江戸線新宿西口駅、新宿線馬喰横山駅

※「都営地下鉄施設内における案内・警備ロボット実証実験」の詳細につきましてはこちらをご参照ください。

2018 年 11 月 22 日
株式会社トランザス

東京都総務局情報通信企画部ホームページ： <http://www.soumu.metro.tokyo.jp/13it/robots2018.html>

【今後の展開】

本実証実験への参加をとおして得られるノウハウを、さらなる高性能・高付加価値を追求したロボットの研究開発に活用します。トランザスは、様々な分野において人材不足解消・労働生産性向上に寄与するため、ロボットのラインナップ拡充を図ってまいります。

【株式会社トランザスについて】 <http://www.tranzas.co.jp/>

トランザスは、「しか」にこだわり世の中に無いサービスを創造するために、IoT デバイスの開発・製造からそれを利用したサービスまでを一貫して提供しております。製造するネットワーク機器や研究開発する通信技術を基に、業務用ウェアラブルデバイス、ホームゲートウェイといった製品・サービスを提供し、労働力不足問題を IoT の活用により解決いたします。

本リリースに関するお問い合わせ先：株式会社トランザス 担当：稲田・森 (pr@tranzas.co.jp)